

# 事務事業評価シート

(H.28)No.	1157	(H.27)No.	1157
-----------	------	-----------	------

事務事業名	中学校教育振興費(学校教育室)		
担当部局名	担当室名	室長名	
教育委員会事務局	学校教育室	中森 早苗	

会計区分	事業コード	481002
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 教育費	中学校教育振興費	
項 中学校費	(小事業名)	
目 教育振興費	中学校教育振興費	

## 1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	4	心豊かな教育と文化に包まれた、ゆとりある暮らし
	基本施策	1	生きる力をはぐくむ教育の充実
	施策	1	学校教育
	小施策	2	義務教育
重点施策コード	3-8.高等教育との連携強化		

## 2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
中学校の教育活動を保障し、もって名張市の教育の質の向上につなげます。
事業内容
中学校の教育活動を保障するために必要な経費、名張市の教育の質の維持向上を図るための教育研究推進及び文化的な教育活動の支援をします。

## 3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.27年度(事業量・取組実績)	H.28年度(事業量・取組計画)	H.29年度(事業計画)	H.30年度(事業計画)	H.31年度(事業計画)
主な事業の実績・計画	委託料:(進路指導充実事業)350千円 報償費:(学校諸行事等報償費)218千円 需用費:(消耗品費)345千円 各種研究会等負担金:35千円	委託料:(進路指導充実事業)350千円 報償費:(学校諸行事等報償費)300千円 需用費:(消耗品費)350千円 各種研究会等負担金:35千円	委託料:(進路指導充実事業)/報償費:(学校諸行事等報償費)/需用費:(消耗品費)/各種研究会等負担金	委託料:(進路指導充実事業)/報償費:(学校諸行事等報償費)/需用費:(消耗品費)/各種研究会等負担金	委託料:(進路指導充実事業)/報償費:(学校諸行事等報償費)/需用費:(消耗品費)/各種研究会等負担金

	H.27年度(決算見込)	H.28年度(作成時予算額)	H.29年度(計画予算)	H.30年度(計画予算)	H.31年度(計画予算)
①直接事業費	948千円	1,035千円	1,035千円	1,035千円	1,035千円
内訳(千円)					
国・県支出金					
地方債					
その他( )					
一般財源	(0) 948	1,035	1,035	1,035	1,035
人工数					
職員	0.09人	0.09人	0.09人	0.09人	0.09人
臨時職員等	0.03人	0.03人	0.03人	0.03人	0.03人
②概算人件費	(0千円) 735千円	735千円	735千円	735千円	735千円
①+②総事業費	(0千円) 1,683千円	1,770千円	1,770千円	1,770千円	1,770千円

## 4. 担当室による事務事業の点検 (\*点検等による成果向上や見直しが困難な事業(法令等による義務的経費、災害復旧等緊急事業など)は点検対象外)

考察(H.27年度の取組評価、課題)	今後の対応方針(課題解決への取組、工夫・改善の内容)
市指定教育研究推進や自主研究推進を委託した学校からは、特色ある取組の事例が提出されました。基礎学力向上支援事業とも連携し、実践発表を通じて他校の取組への参考となりました。	取組事例について、今後も積極的に交流する機会を持ち、事業の成果を広げていきます。

点検項目	内容(施策達成への貢献内容、連携・協働の実践・検討内容)
(1) 事業内容や取組成果は、総合計画の施策達成に貢献しているか A(2つ以上の施策指標達成に貢献又は基本方針達成に特に貢献)	中学校の教育活動を保障し、また名張市の教育の質の向上を図ることにより、教育環境の充実を図ることができました。
(2) 地域づくり組織、市民活動団体等との連携・協働は図れないか 実践している(※実践内容を記載→)	部活動の外部指導者として地域人材の活用・商工会議所等との連携を通して、事業を進めてきました。

## 5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	継続(現行)
具体的な見直し内容・検討内容、継続の理由	6. 事務事業の取組に関係する主な市の計画
中学校における学校教育の質の維持・向上に必要な不可欠な経費であり、継続していきます。	第二次名張市子ども教育ビジョン ぱりっ子すくすく計画(第3次)